



NO. 391

2026. 1. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会  
大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センターB1F  
発行責任者 長谷川 美智代  
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623  
<https://city-osaka-ikuseikai.or.jp>  
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

令和8年を迎えて

理事長 長谷川 美智代

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和8年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、育成会活動にご支援、ご協力をいただきまして、心より厚くお礼申し上げます。



昨年12月に大きな節目となる法人設立30周年を迎え、大阪市大会でも記念の座談会を開催しましたが、登壇者の方々のお話を聞きながら、これまで歩んできた30年の歴史を会員の皆様と一緒に振り返ることができました。当会は、運動体と事業体の両輪で障がいのある人が、地域の中でその人らしく安心して、心豊かに暮らしていける社会の実現をめざし、歩みを重ねてまいりましたが、障がいのある我が子の幸せを願う親御さんと現場で日々支援に尽力してきた職員一人ひとりの想いが、今の法人を支えてきた原動力であったことを改めて実感することもできました。

また、昨年は、創立70周年記念、第10回全国手をつなぐ育成会全国大会が東京で開催されました。平成26年、「社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会」の解散にともない、新たに現在の「全国手をつなぐ育成会連合会」として再出発をしてから、今回が10回目の全国大会となります。そして、創立以来70年の間、知的障がいのある人の権利擁護と必要な政策提言を柱として活動を行い、全国の会員の声を集めて、国への要望活動や審議会への参画などで働きかけ、今あ

る制度が作られてきました。育成会が働きかけて実現したことはいくつもありますが、令和3年に利用が進まない成年後見制度についても制度改善を提言し、抜本的な制度見直しに向けての検討が進められ、2000年に始まったこの制度が25年ぶりに見直されることになりました。「終わらない制度」から「終われる制度」へ、適切な時機に、必要な範囲と期間で利用できる成年後見制度へと大きく生まれ変わりますが、これもまた育成会活動が実を結んだ結果です。歴史を振り返れば、福祉制度やサービスが充実した背景には、育成会活動が大きな役割を果たしているのですが、この親の会の活動を次世代につないでいくことが難しくなっているのが現状です。そのような中、会員減少に歯止めをかけるため、全育連では、団体賛助会員の仕組みを取り入れた全国的な会員増強に向けた取り組みを推進し、大阪市育成会も若い世代のニーズ把握に試行錯誤を続けているところです。

今年は、60年に一度巡ってくる「丙午(ひのえうま)」の年です。日本には、「丙午の女性は気性が激しく、災いをもたらす」という根拠のない迷信が広まり、60年前の昭和41年の丙午の年には、その影響で出生数が大幅に減少しました。令和の現在では、このような迷信を信じる人はほとんどおらず、この迷信さえ知らない人も多いと思います。令和8年の丙午は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる年」で、新しいことに挑戦すると良い結果に繋がるそうです。大阪市育成会にとっても、そして会員の皆様にとりましても何事も“ウマ”くいく良い年でありますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

